

▶成人式に出席した72人です



「ひさしぶり〜」。再会の記念に一枚



インタビューに笑顔で応じる親子



20歳になっても変わらない友情



羽織袴と振袖がお似合い



思い出のワイン!



「元気があった〜?」



恩師との再会も...



◀新成人全員にプレゼントされたのは、中学3年生のときに収穫したブドウから作られた記念のワイン

平成26年朝日町

成人式



4月29日、今年度の町成人式が創遊館で行われました。今年の対象者は、平成5年4月2日から6年4月1日生まれの男性47人、女性44人の91人（17年4月1日以前の転出者を除く）で、全体の約8割にあたる72人が出席しました。

式典では新成人を代表し、成人式実行委員会の菅井広文さんがあいさつ。「りんごの木を見ると、ここで成長した青春時代が思い出される。今後挫折や逆境に直面したときには、朝日町の自然や仲間と過ごした日々を思い出して前に進んでいきたい」と誓いの言葉を述べました。

美しく、そしてたくましく成長した姿で再会を喜び合う新成人たち。式典後には祝賀会も開催され、仲間とのひとときを楽しみました。



「誓いの言葉」を述べる成人式実行委員会の菅井広文さん(沼向)



町立図書館でご覧になれるほか、創遊館内エコミュージアムルームでは頒布にも対応しています。問合せは☎67-2128まで。

4/1 エコミュージアムの小径第15集「大谷風神祭」が発行 風神祭の特異性びっしりの一冊

町エコミュージアム協会（長岡信悦理事長）が2年間にわたり行ってきた大谷風神祭に関する取材・研究の集大成として、「エコミュージアムの小径第15集 大谷風神祭」がこのほど刊行されました。地区の皆さんのお話はもちろん、昨年開催したシンポジウムや田楽提灯作りワークショップの様子なども収録。歴史、神輿、お神楽、獅子踊り、屋台、露天、花火など60ページにわたり、風神祭の特異性がぎっしり。ぜひご覧ください。

ホームページに写真



4/20 激流の中で艇を自在に操る 日本カヌーフリースタイル選手権

4月20日、玉ノ井地内にあるカヌーランド（通称「タンの瀬」）で「日本カヌーフリースタイル選手権大会」が開催されました。日本カヌー連盟が主催し、ワールドカップの派遣選手選考会も兼ねる大会。競技は45秒間の中で様々な技を繰り出し、その得点を競うもので、昨年の世界選手権出場者など国内トップパドラー48人が出場。難易度の高いダイナミックな技が繰り出されると、周囲から大きな拍手と歓声が上がっていました。

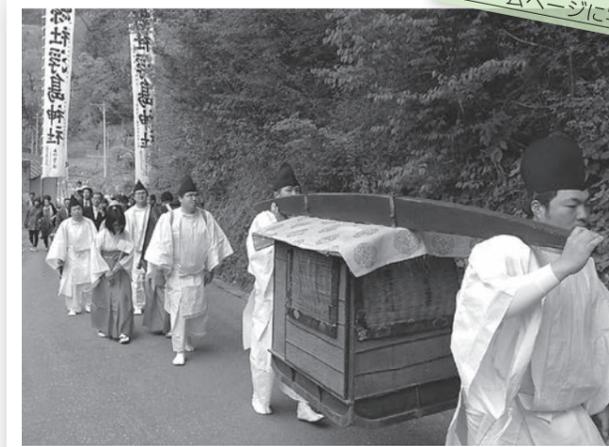
4/29 県内外の108チームが熱戦 第36回朝日町長杯剣道大会

第36回朝日町長杯争奪剣道錬成大会の中学生の部が今年も4月29日朝日中体育館を会場に開催されました。新年度になって間もない時期の開催とあって、毎年冬期間の稽古や成長ぶりが試されるとともに、新チームの顔ぶれが確認できる大会。今年も男子60、女子48の合計108チームがエントリーし、熱戦を繰り広げました。朝日中は男女ともにベスト8で、敢闘賞を受賞しています。

5/11 花摘み作業でさわやかな汗 りんごの樹オーナー制開園式

町特産のりんご（ふじ）のPRを目的に、りんごの樹1本5万円円でオーナーを募集する「りんごの樹オーナー制」。18年目を迎える今年は59口の申込みがあり、5月11日に開園式と摘花作業が行われました。開園式では1年間作業する「樹」を抽選で決定し、その後3園主の4園地に分かれて花摘み作業を体験。晴れ渡る青空の下、爽やかな秋の思いをはせながらさわやかな汗を流しました。

ホームページに写真



平安絵巻のような行列は大行院を出発し、浮嶋稲荷神社を目指す。今年も町指定文化財の「緋網代の駕籠」も特別公開された（=写真上）

5/5 町指定文化財「緋網代の駕籠」も公開 大沼浮嶋稲荷神社例大祭

今年一年の五穀豊穡や無病息災を願う大沼浮嶋稲荷神社の例大祭が5月5日、大沼地内で行われました。午前10時の花火の音とともに神社の社務所を出発するのは、現代によみがえった平安絵巻を感じさせる行列。周囲に響き渡るホラ貝と神秘的な音色の雅楽隊を先頭に、神社宮司や白装束姿の氏子たちが続き、神社まで約1キロの道のりをゆっくりと進んでいきました。

今年も町指定文化財の「緋網代の駕籠」が特別公開されたほか、町の若者グループ「アットホーム」のメンバーが協力。新たな見どころと若さで祭りに魅力を加えました。

◆緋網代の駕籠…町指定文化財（昭和50年）
江戸時代、徳川幕府の祈願所として幕府の庇護を受けた大沼浮嶋稲荷神社。この駕籠は神社別当(*)の代行院が、祈禱した神符を幕府に献上するため江戸城に登城する際に使用したものと伝えられています。
※別当…神社の事務を統括する者

5/11 今年も応援バスで有志が駆けつける モンテディオ朝日町応援デー



（上）町特産のワインを贈った試合前のセレモニー。（下）比嘉選手の同点ゴールに湧き上がるスタンド

5月11日、「朝日町応援デー」のモンテディオ山形ホームゲーム、「ジェフユナイテッド千葉」戦が行われました。通常の半額で観戦できるモンテディオの「市町村応援デー」。町民サポーターで作る「モンテディオあさひ応援隊（遠藤政則会長）」では年に1回のこの日のため格安の応援バスを手配し、町民のツアーで応援に駆けつけています。今回は38人が利用しました。

この日は試合に先立ち、応援隊の志藤修さん（大谷三）ご家族が選手に朝日町ワインを贈呈し激励。また、「桃色ウサビ」もモンテディオ山形のマスコット「ディーオ」とともに愛嬌を振りまきながら、朝日町をPRしました。

試合は後半28分に千葉が先制。山形は後半41分に途中出場の比嘉厚平選手が見事なミドルシュートを決め同点に追いつきましたが無念のドロー。前の試合も終了間際に追いつかれ引き分けているだけに、「ぜひ今日は勝ちたかった」と残念がる一行でしたが、帰町後は懇親会も開かれ、試合とモンテ談義に盛り上がりました。



昨年6月に町にやって来てから約1年間、私は桃色ウサヒを通じて情報発信のため、様々なイベントに参加させていただきました。「若い人が来てくれると活気が出ていいね」。様々な場面でいたただくこうした言葉は「元気の源です」。

私の主な仕事はそうしたイベント等の様子を町ホームページ（以下「HP」）などで発信すること。おかげさまで「こんな活動があったんだ」「○○さん、こういう活動をしていんだ」と話題にしていただけ、取材を受けた方々からは「私たちの活動は注目されているんだから、もっと盛り上げていこう」と活気が出てきた」という話も聞

それいけ! 桃色ウサヒ 協力隊 第10回

桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平町情報交流アドバイザーと町域おこし協力隊、緑のふるさと協力隊員による連載コーナー。日々の活動や朝日町の暮らしを語ります。



「ヒグチ」さんの店内にある町の情報コーナー

好意への恩返しは町の活性化で

情報交流推進員 橋本 落（埼玉県出身）

きました。こうした活性化の連鎖から私も達成感を感じています。また昨年秋頃から役場の前のスーパ―「ヒグチ」さんでは、ご好意により町のHP上で紹介した記事や写真を店内に掲示してくれています。場所は正面入口近くで、目にとまりやすいところ。そばにはデマンドタクシーの待合コーナーもあり、店のスタッフの方の話では、お年寄りの方々が写真によく見入っているそうです。ありがたいことに、パソコンやケータイを使わない方々にもウサヒや私のことを知っていただく機会が増えました。

今年度の新たな活動では、町内の美しい写真を集め、「まちの素材館」として町のHP上で公開します。いつも暖かく見守ってくださるヒグチさんをはじめ、町の皆さんには「町の活性化」という形で恩返しできるよう2年目もしっかり頑張ります。



◀待望のオープンに笑顔を見せるオーナーの奈良崎さん ▲店内には豊富な加工品のほか、季節の果物が並び、その場で味わうことができる

「自家製フルーツたっぷりのスイーツはいかが？」

くだものスイーツカフェ「オレンジの屋根」を開いたIターン農家の先駆け

奈良崎 美雄さん（大滝）

4月19日、上郷地区の国道287号沿いに町特産のフルーツを使ったスイーツや加工品などを提供するカフェ、「オレンジの屋根」がオープンしました。

「材料すべて町の特産の果物にこだわり、余計な添加物はいれない。果物本来の味だけで勝負する。それが当店の自慢であり、特徴です」。こう話すのは、オーナーの奈良崎美雄さん（大滝）。約30年前に転入した、Iターン農家のいわば「先駆け」的存在で、自身が代表を務める農事組合法人「うまいくだもの園」では、りんご、サクランボ、桃をはじめ7種類の果物の生産と加工を手掛けています。高品質の果物はもちろん、「果物が美味しいから自信を持って提供できる」と話す加工品の数々は、全国のデパート等で高い評価を受けています。

お店は空き店舗となっていた建物を改修し利用。自慢のフルーツを使ったパイやタルト、ワッフルのほか、ゼリーやアイス、ソフトクリームなどの商品が並び、店内外の40席でコーヒーとともに味わうことができるほか、テイクアウトも可能。旬の時期にはもちろん農園とれたて果物が並びます。

「オレンジの屋根」という名称については「遠方からお越しいただくお客様の見つけやすさを考えました」と奈良崎さん。「『農園（うまいくだもの園）』では目印になり得ませんが、『オレンジの屋根を目指して来て下さい』というと分かりやすいでしょ。それにオレンジは果物の基本色ですから」。 「町外の方々だけでなく、町の皆さんにもぜひ

ひおいでいただきたいですね。朝日町が、そして上郷地区がますますにぎわってくれればうれしいです」。奈良崎さんのさわやかな笑顔は、オレンジの屋根と同じくらい青空に映えていました。

◀カフェ オレンジの屋根▶

▶営業時間…午前10時～午後6時

▶定休日…毎週月曜日

（祝日の場合は翌平日）

▶問合せ先…☎67-7254



開店の日に来店したご近所の皆さん



町立図書館新刊案内

【その他の新刊】

- ▼さいごの毛布／近藤史恵
- ▼ファイバリスト・ワン／林真理子
- ▼書かずにいられない／北村薫
- ▼豆の上で眠る／湊かなえ
- ▼あふれた愛じゃない／村山由佳
- ▼バベル／福田和代
- ▼無縁旅人／香納諒
- ▼ジエームズ・ボンドは来ない／松岡圭祐
- ▼患者よお前がいなくなって淋しくてたまらない／伊集院静
- ▼大人の流儀4／伊集院静
- ▼秘密保護法何が問題か／海渡雄一
- ▼池上彰の教養のススム／池上彰
- ▼究極のお土産／観光庁
- ▼軍師官兵衛2／青木邦子
- ▼醒めながら見る夢／辻仁成
- ▼ソナチネ／小池真理子
- ▼直木賞受賞エッセイ集成／文藝春秋
- ▼NHKニッポンの里山／今森光彦
- ▼親の家を片づける土地建物相続問題／主婦の友社
- ▼もつ限界！親を介護施設にあずけるお金がわかる本／高室成幸
- ▼ひきこもり脱出支援マニュアル／田村毅 ほか

「ブックテマコーナー」

特集①家庭菜園でおいしい野菜を作ろう！
特集②いぬのおはなしよんでみよう！



「お金が貯まるのは、どっち?」
「お金に好かれる人、嫌われる人の法則」 菅井 敏之 著

お金が増えるのは持ち家派、賃貸派?口座をつくるならメガバンク、信用金庫?クレジットカードを持つなら2枚、4枚?元銀行支店長の著者が、お金を増やす25の法則を伝授する。著者は朝日町出身。

「子どもたちへ」まどさんからの手紙」まどみちお文、ささめや ゆき絵

童謡「ぞっさん」で知られる詩人、まど・みちおが84歳のときに母校の子どもたちにあてた手紙。大切なことを子どもたちに伝えるのが自分の役目と、詩を書き続けた詩人の魂の言葉。

戸籍のまど

Asahi town

4月1日～4月30日届出

Births

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
新宿	今井 琥春	男	昭義・泉
常盤	樋口 瑠月	女	孝・真理子

Marriages

おしあわせに

大井 次郎 (本町)	大泉 美智子 (西川町)
佐竹 登 (栗木沢)	清藤 由紀子 (村山市)

Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
元町	鈴木 みつゑ	本 人
太郎二	齋藤 秀雄	浩 彦
西町	菅井 豊司	昭 工
大町	齋藤 志郎	チ 秀
宇津野	細谷 淳市	明 郎
前田沢	川田 フジ子	皿 耕
太郎一	長岡 玉子	司 義
小原	鈴木 きしよ	孝 義

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population

人口と世帯数

●平成26年 4月30日 現在
※()内は先月比

人口	7,613 人 (-6)
男	3,763 人 (-4)
女	3,850 人 (-2)
世帯数	2,481 世帯 (+9)

----- 4月中の異動 -----

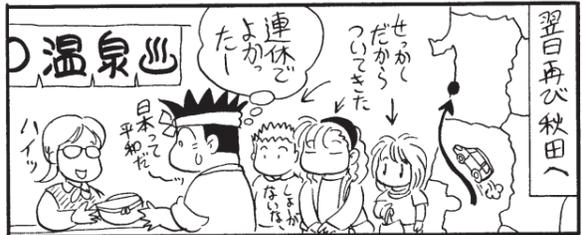
出生	2人	転入	25人
死亡	7人	転出	26人

(※外国人を含む)

お詫びと訂正

本誌4月号19頁「戸籍のまど」コーナーに誤りがありました。正しくは次の通りです。お詫びして訂正します。▶人口7,619人(-51)、男3,767人(-21)、女3,852人(-30)、世帯数2,474世帯(-1) ※()は前月比

とないのリンゴさん



ことです。朝日町に差し掛かる
と安心でき、肩の力が抜けるの
がわかります。

第二は、国道を彩る花々です。
町全体ではないようですが、道
路脇の花々が目を楽しませてく
れます。まるで、長い通勤の途
中でいただく一服のお茶のよう
で、爽やかな気分になります。
花の力は計り知れないですね。
聞くところによれば「花いつ
ぱい運動」だとか。とてもすば
らしい運動ですね。毎日の水や
り、特に夏場は大変な苦勞でしよ
う。

また、昨年は中沢のあるご家
庭の朝顔が大変癒されました。
大輪の朝顔に初めてお目にかか
り、毎日とても楽しみでした。
11月初めまでの長い開花期間
も驚きました。お手入れも大変
だったことでしょう。

以上、感心したことを書きと
めた次第です。今年も期待して
おります。

▼「二通行民」様より

みなさんからおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などをお寄せください。
無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

〒990-1442 朝日町大字宮宿 1115 番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係 ☎67-2112
メール / inform@town.asahi.yamagata.jp

VOICE 町民の声



「合併処理浄化槽設置の補助金を 増やしてもらえませんか」

私 の家では現在、合併処理
浄化槽への切り替えを検
討しています。
町では合併処理浄化槽の設置
を推進していますが、町からの
補助だけでは自己負担がかなり
の金額になり、家計的にも大変
です。もう少し補助金を増やし
てもらえないでしょうか。

合 併処理浄化槽設置のご検
討ありがとうございます。
町は平成2年度から合併処理
浄化槽の設置を進め、平成24年
4月現在の設置率は約75パーセ
ントに達しています。
設置に関しては、工事費の6
割程度の補助金を用意していま
す。このほか、単独浄化槽を廃
止して合併処理浄化槽に切り替
えた場合の補助金や、夫婦の一
方が40歳未満、または18歳以下
の扶養者が1名以上の世帯に対
する奨励金、ポンプ槽設置に対
する補助金など、町民の皆さん
が設置しやすいように他市町村
に比べて手厚い補助制度を準備
しています。
また、合併処理浄化槽と関
連のあるトイレや浴室の改造な
どには、工事費の10%（限度額
50万円）を助成する「町持家住
宅建築補助金（※）」や、費用の
10%（限度額20万円）を助成す
る「県住宅リフォーム総合支援
事業補助金」なども利用できま
す。これらの制度を合わせてご
利用いただけますと、より少な
い自己負担で整備できます。
現行制度でも十分な補助制度
がありますので、ぜひご活用く
ださい。詳しい内容については、
ご相談ください。

▼建設水道課 建設係
☎67・2115

「広報の成人式のページ 集合写真の方がいいと思います」

昨 年、広報の成人式の写真
が集合写真から個人の顔
写真に変わりました。大きくて確
認しやすくなりましたが、集合写
真のほうが雰囲気を感じます。そ
れに、担任の先生も確認できま
す。ぜひ今年の誌面で検討願います。

顔 写真への変更はご指摘通
り、一人ひとりの顔を大き
く見やすくしたいという意図の
もとで行ったものです。集合写真
を望む声があったことについては、
去年の広報委員会でも報告され、
存知上げています。しかし、変
更後の誌面には評価の声もたく
くありません。

▼広報委員会事務局(政策推進課)
☎67・2112

私 は寒河江市の会社に勤務
するため、長井市から毎
日朝日町を通過している者です。
今回は朝日町で感心する点があ
り、特に夏場は大変な苦勞でし
よう。

また、昨年は中沢のあるご家
庭の朝顔が大変癒されました。
大輪の朝顔に初めてお目にかか
り、毎日とても楽しみでした。
11月初めまでの長い開花期間
も驚きました。お手入れも大変
だったことでしょう。

以上、感心したことを書きと
めた次第です。今年も期待して
おります。

▼「二通行民」様より

「道路除雪や花いっぱい運動などについて、 おほめの手紙をいただきました」

ことです。朝日町に差し掛かる
と安心でき、肩の力が抜けるの
がわかります。



残雪の朝日連峰と桃の花 (5月3日/四ノ沢地内)

春爛漫 百花繚乱

好天に恵まれた5月上旬、町内では果樹の花が華やかに春の景色を彩りました。



サクランボ



収穫期：6月～7月



桃



収穫期：7月～9月



西洋ナシ



収穫期：9月～10月



りんご



収穫期：8月～11月

春夏秋冬 編集後記

近すぎて
見えない良さもある

今月号は表紙、裏表紙がともに朝日連峰の写真です。いずれも撮影地は四ノ沢地内の国道287号沿い。表紙の水鏡、裏表紙の桃の花ともに、それだけでも魅力的ですが、背景に朝日連峰が顔をのぞかせると、さらに心惹かれます。
緑萌え、空気澄むこの季節、天童市や寒河江市からは朝日連峰の見事な稜線を見ることが出来ます。一方、近くに里山が迫る朝日町では、その美しさをなかなか見ることができません。朝日連峰は町名

の由来にもなっている町のシンボルだけに、とても残念です。
しかし考えてみると、これはまちづくりも一緒。自分の町に関しては、身近すぎるあまりなかなか良さに気づかないものです。
「見えにくい部分まで光を当て、価値ある情報を探し出して発信すること」。残雪の真っ白な朝日連峰を見ながら、自分の役割を再確認しました。

佐久間 淳